

ここから日本の都城が はじまった

—発掘調査が解き明かす
「飛鳥・藤原の宮都」—

藤原宮大極院跡

奈良
会場

第135回奈良文化財研究所公開講演会
第46回奈良県立橿原考古学研究所公開講演会

定員
550名

令和8年 **11/3** 火・祝
奈良県社会福祉総合センター
大ホール（奈良県橿原市大久保町320番11）

主催：独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
奈良県立橿原考古学研究所
公益財団法人 由良大和古代文化研究協会

東京
会場

第16回奈良文化財研究所東京講演会
第16回奈良県立橿原考古学研究所東京公開講演会

定員
600名

令和8年 **11/15** 日
東京都 有楽町朝日ホール
（東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F）

主催：独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
奈良県立橿原考古学研究所
公益財団法人 由良大和古代文化研究協会
朝日新聞社

両会場とも事前申込制 **参加無料**

申込方法

専用申込みフォーム

<https://e9cbd0f5.form.kintoneapp.com/public/koenkai202610>

申込締切

10月1日(木) 20:00

※先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選となります。

問い合わせ先

奈良文化財研究所総務課広報企画係

電話番号：0742-30-6753 E-mail: kouenkai_nabunken@nich.go.jp



講演

「発掘からみる飛鳥の寺院と古墳」
「橿考研による飛鳥発掘の軌跡」
「飛鳥宮跡における発掘調査の最前線」
「藤原宮跡における近年の調査成果と意義」

対談

「はじまりの地、飛鳥・藤原
—世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」の魅力とは？」

飛鳥京跡苑池

ここから日本の都城がはじまった —発掘調査が解き明かす「飛鳥・藤原の宮都」—

奈良文化財研究所と奈良県立橿原考古学研究所は、これまで飛鳥・藤原の宮都の発掘調査を進めてきました。

令和8年7月26日、「飛鳥・藤原の宮都」が世界文化遺産に登録されたことを記念し、両機関がこれまで積み重ねてきた調査・研究の成果を広くご紹介いたします。世界文化遺産となった飛鳥・藤原の宮都を理解し、楽しむ^{いしづえ}礎となれば幸いです。

発掘調査から見えてきた飛鳥・藤原

日本が中央集権国家として成立する飛鳥時代。その中心である宮都は、飛鳥宮で胎動がはじまり、藤原宮で誕生したといえます。

『続日本紀』では大宝元年(701)に藤原宮でおこなわれた元日朝賀について、こう表現しています。
「^{ぶんぶつ}文物の儀、^ぎ是に^{これ}備れり。——国家として必要なものはすべて整った——」飛鳥・藤原は、日本の“はじまり”の地であり、貴重な文化遺産が“これから”も受け継がれていく日本のふるさとです。

世界文化遺産「飛鳥・藤原の宮都」の多くは、地中に眠る埋蔵文化財です。その価値は、長年にわたる発掘調査や研究によって明らかにされてきました。

本講演会では、これまでの調査の歩みや最新の成果を、研究員がわかりやすく解説するとともに、地下に眠る遺跡はもちろん、古き良き日本の原風景を残す飛鳥・藤原地域の魅力や楽しみ方について、両研究所長による対談をご紹介します。

12:00 開 場

12:30～12:40 開会挨拶

12:40～13:10 講演1 「発掘からみる飛鳥の寺院と古墳」

奈良文化財研究所 都城発掘調査部 主任研究員 若杉 智宏

13:10～13:40 講演2 「橿考研による飛鳥発掘の軌跡」

橿原考古学研究所 調査課 指導研究員 鈴木 一議

13:40～14:10 講演3 「飛鳥宮跡における発掘調査の最前線」

橿原考古学研究所 調査課 主任技師 黒澤 ひかり

14:10～14:40 講演4 「藤原宮跡における近年の調査成果と意義」

奈良文化財研究所 都城発掘調査部 研究員 岩永 玲

14:40～15:00 休 憩

15:00～15:40 対 談 「はじまりの地、飛鳥・藤原

—世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」の魅力とは？」

奈良文化財研究所 所長 本中 眞・橿原考古学研究所 所長 青柳 正規

(コーディネーター：奈良文化財研究所 企画調整部長 神野 恵)

15:40～15:45 閉会挨拶

15:45 閉 会